

島根県立 吉賀高等学校

小さな学校で
大きな夢を

Y O S H I K A H i g h S c h o o l

学校案内 2026

個性と感性を磨く、学び舎



地域に暮らして、豊かな生き方を考える

日本屈指の清流・高津川の源流があり、豊かな自然に囲まれた吉賀町。清流の上流にあるからこそ自然を大切に生きようという地域の人々の想いがあります。吉賀高校はそうした吉賀町にある唯一の高校。地域の子もたちと全国から真の豊かさを求める子どもたちが一つの小さな学校に集まって、勉学やスポーツに、生き生きとした毎日を過ごしています。そして、地域の人々は子どもたちを温かく見守り、応援しています。

—— 吉賀高校は吉賀町と共に生きる高校です。





吉賀地域中高一貫教育＋ 全国から真の豊かさを求める生徒たち

吉賀地域は、町内の3つの中学校と連携する中高一貫教育（連携型）の高校です。そして、平成27年度から、町外・県外からの生徒の受け入れを積極的に始めました。

県内の吉賀町以外、また全国から新たな吉高生が着実に増えています。

サクラマスプロジェクト

サクラマスは、サケ科の魚ですが、川で誕生した後、海に下って大きく成長し、やがて川に戻ってきます。

吉賀町は、保・小・中・高が連携して町全体で、「サクラマスプロジェクト」に取り組んでいます。令和2年度より第二期を迎え、
 『地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる生徒』
 『地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う生徒』
 『地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる生徒』
 『地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける生徒』
 の育成を目指しています。

また、川を町内とするなら、海は広く日本国中を、あるいは世界を意味し、地域や全国から人がこの地に集うプロジェクトとしてさらなる広がりをすすめています。

夢への途は、^{みち}ここにある

年間行事



入学式



体育祭



球技大会



文化祭（吉高マーケット）



遠足



東京研修（地域巡検）



東京研修（東京ディズニーランド）



地域クラブ



地域クラブ（しめ縄づくり）



川の生き物の生態調査

4月

- ・始業式
- ・入学式
- ・スポーツテスト

5月

- ・PTA 総会
- ・中間試験
- ・生徒総会
- ・体育祭

6月

- ・県高校総体
- ・期末試験

7月

- ・球技大会
- ・終業式

8月

- ・始業式
- ・高大協働研究
- ・よしか祭（文化祭）

9月

- ・中間試験

10月

- ・遠足
- ・東京研修
- ・インターンシップ

11月

- ・期末試験

12月

- ・球技大会
- ・終業式

1月

- ・始業式
- ・3年学年末試験
- ・大学入学共通テスト

2月

- ・学年末試験
- ・アントレ成果発表会

3月

- ・卒業式・終業式
- ・合格者一日登校日



少人数指導

授業は、1年次から英・数・国で習熟度別に行っています。さらに、2年生からは進路希望によって2つのコース(下のコース選択図参照)に分かれます。そして、希望者を対象に個別添削指導にも力を入れていて、少人数指導で学力の向上と進路実現を支援しています。

英語や数学がずっと苦手だった生徒が、少人数クラスの授業の中で学ぶ楽しさを知ります。大学進学をめざす生徒には、進路に合わせた指導を行います。

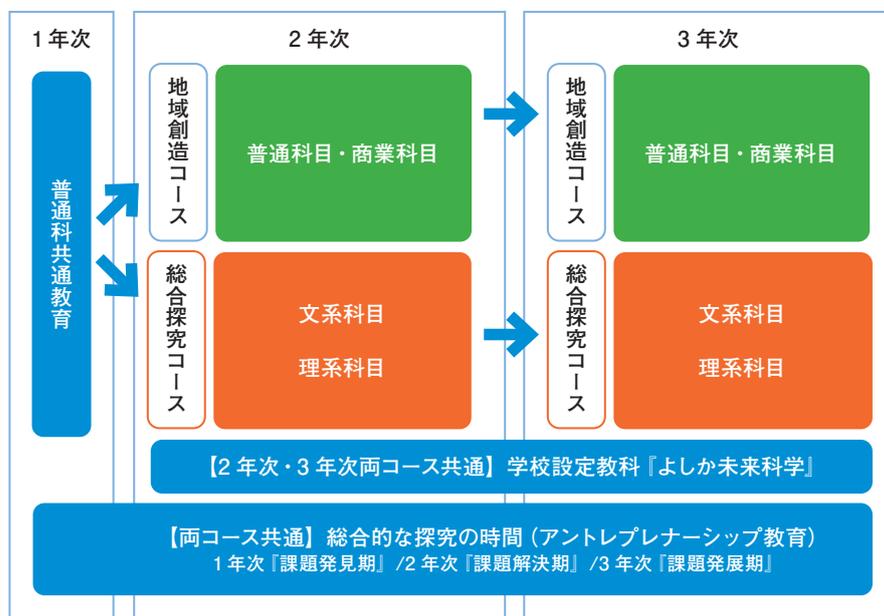


学習クラウドサービス「スタディサプリ」採用

授業の学習内容に関連した課題をオンライン教材として配信し、日々の学習内容の定着を図るとともに、定期試験や課題テストでその取り組みを確認しています。

また、実用英語技能検定(英検)の対策として、受検する級に応じた課題を配信しています。

コース選択図



公設塾「よしか塾NEXT」

高校と一体になって吉高生の進路実現を支援する、吉賀町運営の公設塾です。自学自習のサポートを軸に、勉強に向き合うための支援を行っています。



自分の可能性が見つかる

キャリア
教育



吉賀高校 サクラマスプロジェクト グランドデザイン

1. 地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる
2. 地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う
3. 地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる
4. 地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける

吉賀高校では、生徒のキャリア形成に資するため、保小中高とつながる吉賀町サクラマスプロジェクトと連動し、上記4つの力を身につけられるような取り組みを行っています。普段の学習活動や、学校行事、進路活動に加え、アントレプレナーシップ教育などを通じて、吉賀町をフィールドとして、吉賀町の『人・もの・こと』とのコミュニケーションをとりながら、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現する力を身につけていきます。



1年生：アントレプレナーシップ教育【課題発見期】＋ 東京研修

アントレプレナーとは、「起業家」を意味します。「起業家精神に学ぶ」をテーマとして、「無から有を創り出す精神」を学びます。そして、1年次を「課題発見期」と位置づけ、地域の方に学びながら、地域の課題について探究します。

10月の東京研修※では、東京で生活する大学生とコラボレーションします。グループワークや企業訪問を通じて都市の生活を探究すると共に、地方と都市の関係性について考え、自分たちの生まれ育った町・自分たちが暮らす町を見つめ直します。
(※東京研修の時期・内容については今後変更となる場合があります)



2年生：アントレプレナーシップ教育【課題解決期】

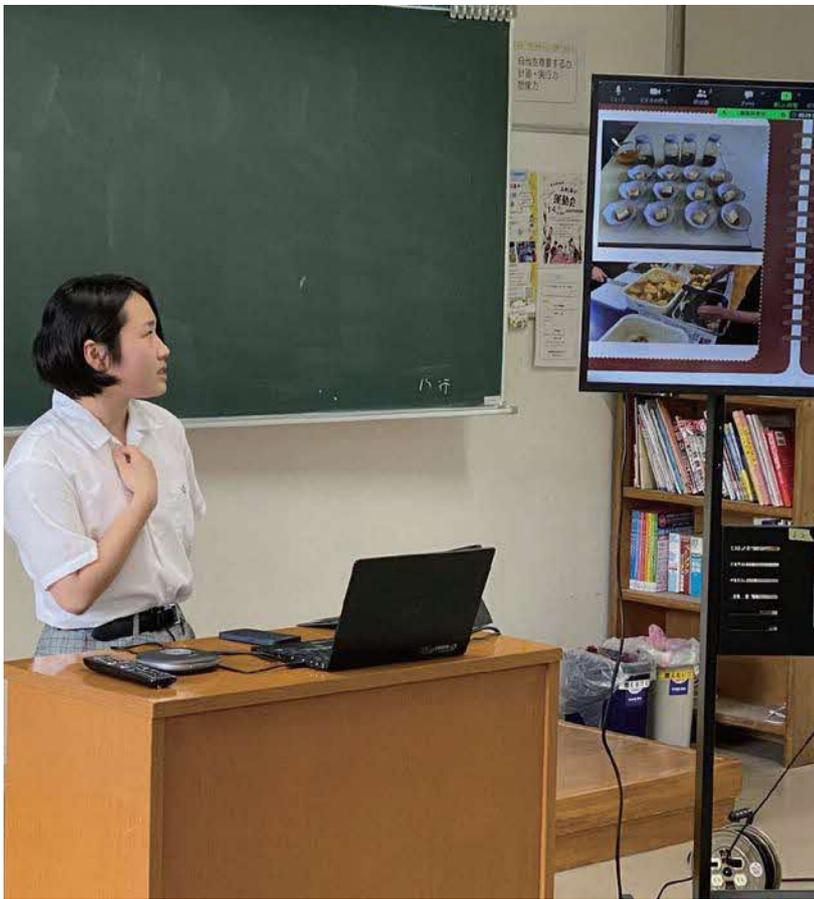
2年生のアントレプレナーシップ教育では、1年生で学んだ吉賀町の魅力や課題をもとに、「未来を創る」プロジェクトを本格的にスタートさせます。「未来を創る」プロジェクトとは、①「こうなってほしい未来」をイメージし、②個人またはチームで吉賀町の人々とともに行動を起こし、③現実を動かすための挑戦をすることによって、「未来を創る」取り組みです。この「願って、作って、動かす」というプロセスを通して、「自分自身の未来を創る力」を育みます。地元の方と直にふれあひながらのディスカッションや主体的なアクションを大切にし、地域貢献の意識を高め、思考力・表現力・コミュニケーション能力などを磨いていきます。



3年生：アントレプレナーシップ教育【課題発展期】

豊富な体験学習の経験を基に、自らのキャリア形成に取り組みます。自分の進路を考え、希望を実現する上で、「無から有を創り出す」起業家精神が存分に活かされます。さらに、アントレプレナーシップ教育の集大成として、個別のプロジェクトをさらに進め、7月に最終発表会で全員が3年間の学びをまとめ、発表します。

また12月は『サクラマス・とーく!』と題し、高校生と吉賀町内の小学生が一緒になって、自分のキャリアや今後の将来像について語り合います。



例えば、アントレプレナーシップ教育の成果発表会。吉賀高校では、全員がプレゼンを行います。小規模校だからこそ、全員が主役になるのです。授業でも、行事でも、部活動でも、全員に何らかの活躍の場が与えられます。人間の可能性は、挑戦してみなければわかりません。一人ひとりが、自分の可能性を発見し、成長していく。吉賀高校はそんな学校です。



吉高生は、全員が地域クラブ員

吉高生は、全員が地域クラブ員であり、地域の様々な行事に、運営側として参加します。『よしか・夢・花・マラソン』、『田植え・稲刈り』、『七カ祭』、『地域の農業収穫祭』・・・いろんな行事で運営体験やボランティア体験を積み、地域の方とふれあひながら、生きる力を伸ばします。

環境教育

2・3年次の学校設定教科『よしか未来科学』では、森・川・里・海、それぞれの専門家から、フィールドワークを交えながら、日本有数の清流・高津川流域を始めとした環境について学びます。

森や里の分野では、山へ行き植林体験を行ったり、川や海の分野では高津川の上流から下流にかけて生物調査を行い、森川里海の自然の繋がりと環境課題を座学と実践の両方から学びます。



「アントレプレナーシップ教育」、「地域クラブ」、「環境教育」、そして学習や行事や部活動・・・
吉賀高校は、学校でのすべての活動が生徒のキャリア発達につながると考えています。それが、「小さな学校で大きな夢を！」の具体であり、「サクラマスプロジェクト吉賀高校グランドデザイン」に描かれています。

自分を磨くさらなるステージへ



合格先一覧

令和6年度卒業生進路状況

◎進路状況(令和7年3月31日現在)

進学：4年制大学18名

短期大学1名、専修学校等5名

就職：公務員2名、民間2名(県外)

◎4年制大学【国公立】

○島根大学 ○島根県立大学(2)

◎4年制大学【私立】

○成蹊大学 ○聖心女子大学 ○清泉女子大学 ○東洋大学
○麗澤大学 ○フェリス女学院大学 ○立命館大学
○びわこ成蹊スポーツ大学 ○甲南大学 ○園田学園女子大学
○吉備国際大学 ○就実大学 ○比治山大学
○広島修道大学 ○広島文化学園大学 ○鳥取看護大学
○酪農学園大学

◎専修学校等

○岩国医療センター附属岩国看護学校
○広島工業大学専門学校 ○福岡こども専門学校
○大阪ビューティーアート専門学校
○広島情報ITクリエイター専門学校
○北海道エコ・動物自然専門学校

◎短期大学

○島根県立大学短大部 ○岩国短期大学

◎就職

○防衛大学校 ○自衛隊
○ダイキョーニシカワ株式会社
○株式会社 一心 デイサービス一





環境を存分に活かす

私は、地域の方々との交流やアントレ活動を通して地方の政治や行政に関心を持つようになり、大学を選ぶ際には「その大学で何を学べるか」を重視しました。

吉賀高校には、「勉強したい」という皆さんの意欲にしっかり応えてくれる環境があります。少人数制のため、先生方が一人ひとりに丁寧な添削指導を行ってくれます。さらに、よしか塾NEXTでは、静かな環境で自習に取り組むことができ、学習面のサポートも充実しています。

鈴木 健太 立命館大学 政策科学部

とはいえ、ずっと勉強ばかりしていると息が詰まってしまう。ときには家族や友達と話をしたりして気分転換をすることも大切です。特に吉賀町は自然が豊かで風景も美しいので、外を散歩するのもおすすめです。

受験において競う相手は、同じ学校の仲間ではなく、全国の受験生です。皆さんには、この吉賀高校の恵まれた環境を最大限に活かし、失敗を恐れず、高い目標に向かって努力し続けてほしいと思います。



夢へ向かって

私は入学時、特に具体的な将来の夢を持っていませんでした。しかし、1年次のアントレや吉賀町での寮生活を通して、教育という分野に興味を持ち、2・3年次は教育についての活動を行いました。活動の中で興味は次第に夢へと変化していきます、教師になりたいと思うようになり、へるん入試で島根大学を目指すことを決めました。へるん入試での志望理由書作成や面接の際、アントレ活動の経験やそこで得たプレ

ン入試で島根大学を目指すことを決めました。へるん入試での志望理由書作成や面接の際、アントレ活動の経験やそこで得たプレ

秋田 歩太 島根大学 教育学部

ゼンカや課題発見・解決能力を活かすことができ、興味のあることをアントレ活動の軸にしている良かったなと思いました。そして、先生方の手厚いサポートもあり、無事合格を掴むことができました。

後輩の皆さんには、夢を意識した高校生活を送ってほしいです。私のように少し興味があるというところから、夢へと繋がることもあります。少し興味を持っているなら後悔しないようチャレンジしてほしいです。さらに、そのチャレンジを支えてくれる町、学校、活動などの環境が整っているのが吉賀高校のいいところです。日頃の小さなことから意識しながら夢を叶えるために頑張ってください！



やればできる

私は1年生のとき、課題や提出物を出すのが面倒で後回しにしてしまい、提出期限を守れないことが多々ありました。しかし、3年生になって進学を意識するようになり、成績を上げたいと思うようになりました。そこで、課題や提出物に早めに取り組むことを心がけました。その結果、授業の内容もよく理解できるようになり、3年生の成績は大きく向上しました。

大学へは推薦入試での合格を目指し、さらに特待生試験にも合格するため、毎日「よしか塾NEXT」や先生のところに通い、勉

新田 充輝 広島工業大学専門学校 建築学科

強や面接練習を重ねました。普段の勉強でも、自分が「できない」と素直に認め、こつこつと努力することが大切だと気づきました。本番では、対策してきた内容が多く出題され、全力を出し切ることができました。アントレプレナーシップやボランティア活動では、幅広い年代の地域の方々に関わることができ、面接でもアピールポイントとなりました。こうした経験は、個人が成長する貴重なチャンスだったと思います。

高校生活の3年間を通して、私は「やればできる」ということを実感しました。やる気が出ないのは自分の意識次第であり、ゲームやテレビを少し我慢して勉強し、「もう少し!」と自分を奮い立たせることを毎日積み重ねることの大切さを学びました。



内定までの道のり

私は最初、どんな仕事が自分に合っているのか、とても悩んでいました。

「自分に合った仕事は何か」「本当にやりたいことは何か」と、考える日々が続きました。周りの友達は将来の目標が明確で、特定の職業を目指している人も多

い中、自分にははっきりとした答えがなく、不安を感じていました。そこで、まずは自分自身を改めて見つめ直すことから始めました。自分の強みや得意なことについて考えたり、周囲の人に聞いたりし

小倉 歩友 ダイキョーニシカワ株式会社

ながら、少しずつ「自分がやりたいこと」が見えてきました。

私が就職試験を受ける際に、一番頑張ったのは面接です。私は緊張しやすく、人前でうまく話すことが苦手です。しかし、友達や先生に協力してもらいながら、何度も練習を重ねたことで、本番では自分の思いをしっかりと伝えることができました。

後輩の皆さん、焦らず、自分のペースで一步一步進んでいってください。そして、失敗を恐れず、いろいろなことに何度でも挑戦してください。後悔のないように、これからも頑張ってください。

自身を、マインドを磨く、部活動

少数精鋭の部活動は、新たな自分の可能性を発見するチャンスです。
また小規模校ながら文化系のクラブも多彩で、生徒はいきいきと部活動に励んでいます。



サッカー部

吉高サッカー部は素晴らしいサッカーファミリーと共に、感動を与えるサッカーを体現することを目指して日々活動しています。



ソフトテニス部

私たちの目標は、個人・団体ともに1勝です。これからも地域の方により報告ができるように精一杯頑張りたいと思います。応援よろしくをお願いします。



女子バレーボール部

部員が高い意識を持ち、活気ある練習を行っています。地域とのつながりを大切に、応援していただけるようなチームを目指して頑張っています。



陸上競技部

「0.1秒でも速く走る」「1cmでも多く跳ぶ」・・・
こんなシンプルでいて、とても難しい目標を乗り越えようと、生活の中の1つ1つの取り組みを大切にしながら、日々努力を重ねて活動しています。



男子バレーボール部

バレーボールを通して、選手としての技術向上はもちろん、礼儀や協調性、社会性を身につけるため、日々全力で取り組んでいます。自分たちの勝利や成長のために何が必要かを考えながら活動することを大切にしています。

吉高生全員が地域クラブ員です。その中のリーダーを中心に、地域のイベントでのボランティア活動や、ライスバーガーの制作・販売を行っています。近年では、アントレともコラボしながら様々な活動を展開しています。さらにかかるた分野、硬式テニス、釣り分野、空手分野など活躍の幅を広げています。今後も多くの出会いや経験を通して、地域活性化に貢献していきます。



音楽部

バンド演奏を中心に、地域のお祭りや学校行事などで発表する場があり、地域の方々のご指導やご支援のもと活動しています。



美術部

絵画やデザインなど色々な作品に取り組んでいます。とても楽しく活動しており、各自が納得のいく作品を制作するため頑張っています。



茶道部

学校でのお点前のお稽古だけでなく、お茶づくり体験など、幅広く活動しています。楽しく、気軽に日本の伝統文化を学ぶことができます。



写真部

「撮りたいときに、撮りたいだけ撮る」を方針に掲げ、活動しています。初心者が多く、コンクールや高校写真展においては入賞もあり日々成長を続けています。



華道部

毎回楽しくお花を生けています。生けた後は、自宅や学校に飾ります。水切りなどの専門的な技術や、お花の形を活かした活け方を学びながら、センスを磨いています。



文芸部

俳句や詩、小説など自分で好きな作品を創作します。週に2、3回、図書室に集まって各自創作活動を行い、その時に情報交換や作品の鑑賞もします。作品は自分の好きな時に家でも作ることができるので、自分のスタイルに合わせた活動ができます。

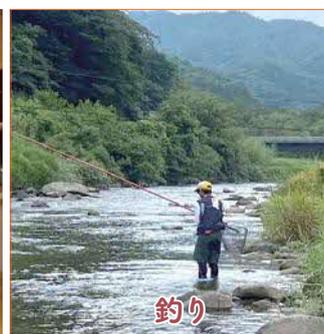
地域クラブ



かるた



硬式テニス



釣り



空手

合言葉は、吉高に「よし！行こう」

新入生からのメッセージ

福田 楽 [吉賀町出身 六日市中学校]



私が吉賀高校を選んだ理由は、生徒数が少なく、他学年の人とも仲良くなれると聞き、とても楽しそうだったからです。もともと私は県外の高校への進学を考えていました。しかし、吉賀高校が取り組んでいる活動、特にアントレプレナーシップ教育で自然を生かした地域との交流ができることに興味を持ち、志望校を吉賀高校に変更しました。

吉賀高校の良いところは、大きく分けて二つあると思います。一つ目は、生徒同士だけでなく、学年を超えて生徒同士や先生とも仲が良く、温かい雰囲気があるところです。二つ目は、豊かな自然に囲まれ、地域とのつながりが深いところです。吉賀高校では「地域みらい留学」が行われており、町外や県外からの生徒が在籍しているため、多様な価値観に触れることができる点も魅力だと感じました。

川上 凜央 [千葉県出身 習志野第六中学校]



私が吉賀高校を選んだ理由は、自分のコミュニケーション能力を上げたいと思ったからです。吉賀高校は全校生徒100人未満と少ないですが、その分、人との交流をより深めることができ、地域の方々とアントレなどで関わることができるので自分にぴったりだと思いました。

私は地域みらい留学を利用して千葉県から来ていて吉賀町や島根県のことを全く知りませんでしたが、同級生や先輩方、地域の方たちと関わっていくうちに、少しずつ知ることができています。吉賀町で開催された夢・花マラソンに役員と参加した際には、たくさんの人と関わる中で吉賀町の人たちの優しさをとても感じることができました。

寮では、今まで親がやっていた家事全般を自分でやらなくてはいけないということにまだ慣れていませんが、積極的に寮の家事当番を担当しながら、先輩方を見てしっかり学び、自分の自立心を鍛えていきたいと思っています。

吉賀高校にはたくさんの魅力が詰まっているので、ぜひ一度来て考えてみてください。

上田 夏希 [吉賀町出身 吉賀中学校]



私が吉賀高校を選んだ理由は、自分に夢や目標がなく悩んでいた時に吉賀高校のキャッチコピーである「小さな学校で、大きな夢を」という言葉にとっても惹かれたからです。また、地域活動を通して生まれ育った吉賀町に少しでも恩返しができると思ったので吉賀高校を選びました。

吉賀高校の良いところは、小規模校ならではの温かい雰囲気と、先生と生徒の距離が近く、勉強や生活などについて相談をしやすいところだと思います。普段の学校生活では、同級生と協力しながら課題や学習に取り組んでいます。協力しながら取り組むことで、自分にはなかった考え方や新しい視点に気付くことができ、学びの幅が広がっています。

私が今、特に頑張りたいことはボランティアや地域活動に積極的に参加することです。先日、地域おこしイベントに参加した際には、中学生の時よりも密接に地域の方と関わることができ、より地域との繋がりを実感しました。これからも積極的に参加することで、自分の目標や夢を見つけていきたいです。

今、自分が何をしたいのか分からず悩んでいる人や、地域活動に少しでも興味がある人はぜひ吉賀高校に入学してみてください。

寺井 亜梨沙 [益田市出身 益田中学校]



私が吉賀高校を選んだ理由は、少人数できめ細やかな授業を受けられるところや、アントレ教育や地域クラブ活動を通して様々な方と関わるところに魅力を感じたからです。私は、小中学校と生徒数が多い学校で生活してきたため、「少人数な学校で生活してみたい!」という思いが強くありました。

高校に入学してまだ間もないですが、クラスメートや先生方、先輩方や地域の皆さんがとても温かく、優しく接してくださるため、充実した楽しい学校生活を送ることができています。放課後も部活をしたり、学校の近くにある公設塾を利用し寮生と一緒にテスト勉強をしたり、町の教育支援コーディネーターの方に分からないところを質問するなど、有意義な時間を過ごしていると実感しています。また、私は4月から「サクラマス交流センター」で寮生活を送っています。まだまだ慣れないところもありますが、たくさんの方の力を借りながら生活できていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

これから3年間様々な困難に直面することもあると思いますが、小さな学校で大きな夢を掴むために何事もチャレンジ精神で頑張りたいです。

「小さな学校」の多様な学び、 「大きな夢」への自己成長

校長 河井 俊彦

清流・高津川の源流の町であり、水とすままち・吉賀町にある吉賀高校は、開校以来77年の伝統を築き、およそ4500名の卒業生を社会に送り出してきました。吉賀町内の3中学校(柿木・吉賀・六日市中学校)と連携型の中高一貫教育を行っていること、地域や首都圏の大学と連携して「アントレプレナーシップ教育」を進めていること、そして県外からの生徒募集を積極的に行っていることが本校の大きな特徴です。今春は、17名の新入生を迎えました。全校生徒83名(そのうち県外生17名)で今年度をスタートしています。

吉賀高校は、「至誠(まじめに)・創造(あらたに)・努力(ひたむきに)」を校訓とし、「小さな学校で大きな夢を!」を合い言葉に、小さな学校だからできること(生徒一人ひとりに役割があり、生徒一人ひとりにスポットライトが当たる教育)を大切に、教育活動に取り組んでいます。



主に県外・町外からの生徒が生活する寄宿舎については、町営の「サクラマス交流センター」が設置されており、全室個室(バス・トイレ付き)、そして地元の食材を使った食事という恵まれた環境の中で、落ち

着いた生活を送ることができています。さらに、吉賀町の支援により昨年度より「よしかみらい交流センター」という2つめの寄宿舎の運営が始まっています。

また、放課後の学習の場として、学校近くに公設塾「よしか塾NEXT」が設置されています。その他にもバス通学補助や部活動遠征のための振興会バスなど、吉賀町からの大きなバックアップのもとで、充実した教育環境が整っています。

吉賀高校は「小さな学校」での多様な学びの経験を通じて、すべての生徒が「大きな夢」を見つけ、育て、実現し、そして自己成長できる学校を目指しています。

サクラマスコーディネーター

吉賀高校のサクラマスコーディネーター(魅力化コーディネーター)は、吉高生の皆さんの学校生活が少しでも充実した時間になるよう、様々な場面で地域と学校を繋ぎます。吉賀町役場の職員ですが、主に高校や交流センター・地域活動の場面などで動いています。吉高生の皆さんにとって、吉賀町のヒト・モノ・コトを感じながら、卒業後の未来に向けて頑張ることのできる高校生活になるよう、生徒の皆さんと一緒に生活や活動を創っていきます!



モニュメント「翔」

正門左にあり「東京スカイツリー」のデザインを手掛け、令和2年に文化勲章を受章された吉賀町名誉町民澄川喜一氏により、吉高創立50周年記念として制作されました。校章のモチーフである若鮎を力強くシャープに表現しています。



学校沿革

- 昭和23年 島根県立益田農林高等学校七日市分校および柿木分校として設置認可(定時制課程)七日市村役場の1部を仮校舎として開校。
- 昭和38年 島根県立益田産業高等学校より分離独立し、島根県立吉賀高等学校および同校柿木分校として設置
校歌制定・作詞は当時松江南高等学校長の本島俊太郎先生、作曲は島根大学の森山俊雄教授
若鮎をデザインした校章制定
- 昭和47年 校訓碑建立、学校庭園完成
- 昭和48年 寄宿舎竣工「盛岳寮」と命名
- 平成2年 校舎竣工式、創立40周年記念式典挙行、バラ園造成
- 平成9年 制服改定(本年入学生より学年進行)
海外研修旅行(シンガポール)決定
- 平成13年 屋内運動場竣工
- 平成13年 創立50周年モニュメント設置
中高一貫教育(連携型)本格導入(対吉賀中学校)
- 平成15年 中高一貫教育(連携型)本格導入
(対蔵木中学校・六日市中学校)

- 平成18年 中高一貫教育(連携型)本格導入(対柿木中学校)
- 平成23年 サクラマスプロジェクト開始
- 平成24年 1年生東京研修開始
- 平成27年 キャリア教育成果発表会開始
- 平成28年 全国高校生自然環境サミット in 吉賀 開催
全日本ユース(U-18)フットサル大会出場
ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会出場
- 平成29年 サクラマス交流センター竣工
公設塾「よしか塾NEXT」開設
青学大・法政大と高大協働研究開始
- 令和2年 第5回全国高校生SBP交流フェア参加 特別賞受賞
- 令和3年 「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト佳作受賞
- 令和4年 高知インターハイ出場(女子テニスシングルス)
いちご一会とちぎ国体出場(少年女子テニスの部)
- 令和5年 第15回キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰受賞
全国選抜テニス大会出場(女子個人シングルス)

吉賀町の力強い支援



吉賀高校は地域の学校として吉賀町や多くの組織から力強いバックアップを受けています。また、寮機能を重点とした「サクラマス交流センター・よしかみらい交流センター」や、吉高生の進路実現の支援のための公設塾「よしか塾 NEXT」を開設。中山間地の魅力ある高校のために、住環境や学習支援をさらに充実させています。

吉高支援室

吉賀町役場総務課内に吉高支援室が設置されています。高校と連携して、物心両面で吉賀高校の教育活動を支えます。

公設塾「よしか塾 NEXT」

吉賀高校と一体となって、吉高生の進路実現を支援します。

バス通学補助

路線バスを利用して通学している吉高生の希望者に回数券を補助しています。バス通学の費用はかかりません。

吉賀高校支援協議会バス

部活動の遠征等では、振興会バスを利用することができます。バス運行経費、補修費、運転手の賃金、宿泊費等は、ほとんど振興会を通して町が負担します。この他、進路指導や生徒活動も振興会が支援しています。

東京研修補助

3泊4日の東京研修のために、町からたくさんの補助をいただいています。

キャリア教育・地域クラブへの協力

吉賀高校のキャリア教育や地域クラブの活動は、吉賀町の町民の皆さんの協力によって成り立っています。

サクラマス コーディネーター

吉賀高校の魅力化コーディネーターは、町の職員です。

吉賀町の子育て支援

吉賀町では、高校への支援の他に、平成 27 年度から給食費・保育料が完全無償化されました。そして吉賀町の住民であれば、医療費も高校卒業まで全額助成されます。

人工芝サッカーグラウンド「よしかみらい」

サッカー部は日頃の部活動で、町営のサッカーグラウンドを使用させていただいています。



吉賀町が運営する施設をご紹介します！

サクラマス交流センター



全室個室 (16室×2棟)

全ての部屋が個室で、バス・トイレ付きです。ロフト形式のベッドがあり、学習机、椅子、クローゼットも備え付けです。

費用 (令和6年度)

舎費 月額¥36,000 + 水道・光熱費

食事 1日3食 (昼食は弁当)

※くわしくは吉賀高校ホームページにて



交流室

交流室は、食堂も兼ねています。食事時間帯以外では、学習したり、他学年と交流することもできます。

よしかみらい交流センター

全16部屋 (1K×9室、2K×6室、3K×1室)

3タイプの部屋があります。各部屋にバス・トイレ・流し台・ベッド・学習机・椅子・衣装ケース付きです。部屋タイプ別に1~3人部屋となります。

費用 (令和6年度)

舎費 月額 ¥45,000 (水道・光熱費含む)

食事 1日3食 (昼食は弁当)

※くわしくは吉賀高校ホームページにて





島根県立 吉賀高等学校

〒699-5522 島根県鹿足郡吉賀町七日市 937 番地
 TEL.0856-78-0029 FAX.0856-78-0742
 E-mail yoshikakoko@pref.shimane.lg.jp
 ホームページ <http://www.yoshika.ed.jp>

学校のこと、もっと知りたい方はこちら



ホームページ



Instagram



Facebook



シンボルツリー「めたせこいあ」

昭和29年に本校柔剣道場横に植樹され、分校時代や吉賀高校として独立後の歴史を見てきました。まっすぐにまっすぐに成長する学校のシンボルです。令和6年に落雷にあい、伐採されました。